

別表1 評価基準

区分	審査項目	審査内容	判断基準	配点		
事業者の能力・実績等	業務実績		過去5年間に於いて、同業種の実績は豊富か。	5		
			民間も含めたビルメンテナンス等の実績は豊富か。			
	財政基盤・経営状況		持続可能性に問題はないか。自己資本比率はどうか。	5		
	事業者の所在地		主体となる事業者の所在地及び本社所在地はどこか。	5		
SDGsへの取り組み			おきなわSDGsパートナーに登録されているか。	5		
			SDGsの達成に向けた具体的取組を行っているか。			
参考見積額	参考見積額		60点×(最も安価な事業者の参考見積額/当該事業者の参考見積額) ※小数点以下切捨て	60		
企画提案内容	業務の基本的な考え方	本業務の基本的な考え方、目指す方向性	本市の現状や課題を理解しているか。	5		
			本業務の基本的な考え方、目指す方向性は明確であるか。			
	業務の実施体制	市、受託者、再委託者の役割分担、業務の流れ	市、受託者、再委託者の役割分担、業務の流れは適切か。	10		
				包括責任者の能力(マネジメント力、コミュニケーション能力、技術力)	包括責任者の能力は十分か(人柄、取組姿勢、取得資格、過去の具体的事例等)	10
				人員体制等	本業務を実施する組織、人員体制は充実しているか。	5
	業務品質及び効率性の維持向上策	業務品質及び効率性を維持、向上させるための具体策	業務品質及び効率性を維持・向上させるための具体策があるか。	5		
	修繕業務の実施方法等	不具合発生時の体制や具体的な対応等		自社で対応できる技術力を有しているか(有資格者の配置等)	5	
				屋間、夜間、平日、休日等の場合を想定しているか。またその内容は適切か。	5	
				修繕業務の適正かつ効率的に実施するための基本的な考え方	修繕業務について適正かつ効率的に実施するための具体策を示しているか。	5
				修繕費の競争性確保など費用の低減方策	修繕費について費用低減につながる競争性確保などの方策が示されているか。	5
	市内事業者の活用	市内事業者活用の方針について	各業務における協会社選定の方法	市内事業者の活用に対する方針は具体的か	10	
				活用方針に基づいて行う各業務の協会社選定方法に公平性はあるか。	10	
				市内事業者の技術力やノウハウ、経営基盤等の向上に資する育成の考え方	市内事業者の技術力やノウハウ、経営基盤等の向上に資することが期待できるか。	10
	業務内容の確認・評価方法	業務内容の確認・評価のためのモニタリング等の仕組みや考え方		多くの事業者が関わる中で、セルフモニタリング、再委託業者へのモニタリングを行い、契約内容の履行確認、業務評価を適切に行う方法、体制があるか。	10	
モニタリング等が形骸化しないためのPDCAサイクル等は適正か。				10		
追加サービス・独自のノウハウ等	本業務において、見積上限額の範囲内で実現できる市に有益となるサービス等があれば記述すること		点検・修繕データ活用、優先度判断、予算化支援、中長期保全計画の策定支援等、本市の公共施設マネジメントに資する具体的な提案はあるか。	10		
			本市職員の質の向上・業務負担の軽減に資する具体的な取り組みはあるか。	5		
合計点数				200		